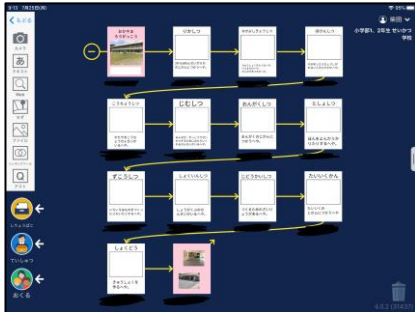


1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山聾学校	実践者名	柴田 慎平
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活科		
単元・題材名	学校探検をしよう！		
学習目標・ねらい	・ ロイロノートを使い学校探検ブックを作成できる。 ・ 主体的に児童同士で互いに教え合う学習活動を行い、オリジナルな学校探検ブックを作成できる。		
対象の児童 生徒の実態	・ 2年生はロイロノートの使い方を覚えており、教員が手伝わなくても基本操作ができる。 ・ 1年生はタブレットの操作に慣れるのがはやく使いこなせる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
(1) 1年生に学校を案内するために、ロイロノートで探検ブックを作成して、学校探検を行う。 (2) ロイロノートを使い、学校探検の本を作る。作成の際に、児童はローマ字表を見ながら教室名や説明を打ち込んだ。また、表紙と裏表紙の写真も自分たちで撮り作成する。 (3) 2年生から1年生にロイロノートの送る機能を使って探検ブックを渡す。 (4) 探検の際、2年生はロイロノートを見て教室の説明を行う。 (5) 1年生は教室の写真を撮影し、ロイロノート上にある探検ブックに貼り付ける。このとき、2年生が使い方を伝える。 (6) 学校探検終了後、1年生は探検ブックを iPad から印刷して本にした。		  	
活用のポイント・改善策等			
・ ロイロノートを使うことで互いに作成したものを紹介し合う活動ができた。 ・ 写真を撮って貼るという作業をする中で教えたり、考えて写真を撮ったりと主体的に活動できた。 ・ 情報活用能力の育成を目的として、ローマ字表を見ながら文字入力を行う活動を行った。			